



広報 はなわ

CONTENTS (主な内容)

東京塙会創立20周年記念式典P 2 ~ 3
塙町功労者表彰式P 4
出羽神社例大祭P 8 ~ 9
塙町産業祭・水上俵引き競争P 13 ~ 15

久慈川を突つ走れ!
（第22回塙代官カップ・水上俵引き競争
14ページ・15ページをご覧ください）

2012 12
平成24年12月1日
No.5-8-9

「東京塙会」盛大に開催

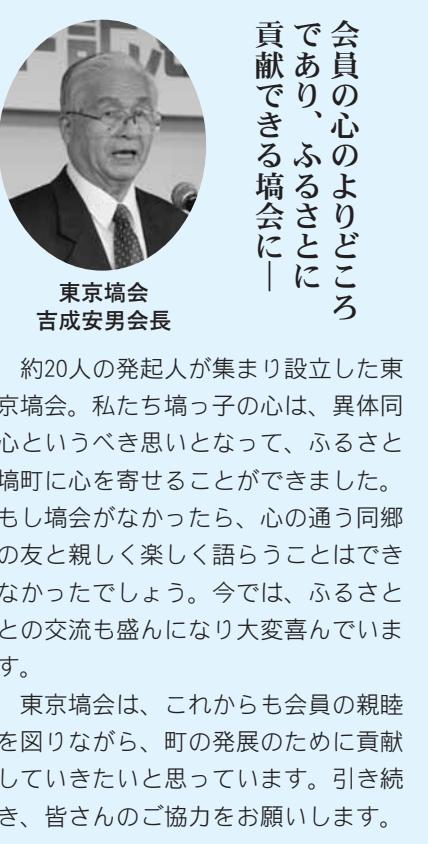
平成24年度総会および記念式典

祝 20周年

祝



「これからも町を思う心は一つ」吉成会長があいさつ



「ふるさと塙」は私たちの誇りです
会場内は笑顔につつまれていました



菊池町長から感謝状が贈られました

首都圏などで暮らす町出身者で組織する「東京塙会」（吉成安男会長、会員220人）が20周年を迎えるました。10月28日（日）には、東京都文京区の椿山荘で60人の会員が出席。総会と記念式典が盛大に行われました。

総会では吉成会長が議長となり、事業や収支予算などについて話し合われたほか、役員改選も行われました。

式典では、吉成会長のあいさつの後、白石進一副会長が「20周年のあゆみ」について説明。菊池基文町長からは感謝状が贈られ、その後、祝賀会・懇談会に。会員の皆さんには20周年を祝い合い、ふるさと話に花を咲かせていました。

町のサポーター「東京塙会」。これからも、首都圏と塙の情報交換、都市交流の推進役として協力していきます。

東京塙会役員（敬称略）
▼副会長 白石進一（小金井市）、高澤知徳（柏市）
▼会長 吉成安男（和光市）
事 小松洋子（台東区）、長島典子（さいたま市）、川上とみ子（目黒区）、永田ミチ（武蔵野市）、久米川キサ子（板橋区）、北郷忠（狛江市）、松本千恵子（西東京市）、田崎勇（足立区）、鳥羽昭子（杉並区）、鈴木皓司（足立区）
▼監事 山口トキ子（新宿区）、小林良樹（横浜市）



昨年の様子

新春をみんなで祝う 平成25年塙町賀詞交歓会を開催します

新年がさらに充実した年になる
よう、また、幸多き年であること
を願って、平成25年塙町賀詞交歓
会を開催します。申し込みは不要
ですので、どなたでもお気軽にご
出席ください。

- 日 時
平成25年1月10日(木)
午後6時~
- 場 所
塙農村勤労福祉社会館 大研修室
- 参加費 2,000円
- 問い合わせ
総務課総務係 ☎ 43-2111

役場の窓口業務は 12月28日(金)まで

町役場は年末12月28日(金)まで、
年始は1月4日(金)からの業務にな
ります。

■ 証明書や戸籍謄本など

住民票、印鑑証明書などの各種証明書や戸籍謄本などの発行は、年末は12月28日(金)まで、年始は1月4日(金)から開始します。

なお、出生届や死亡届など戸籍
関係の届け出は休日でも受け付け
ます。町役場宿直室までお越しく
ださい。

問い合わせ
町民課住民係 ☎ 43-2114

年始は1月4日(金)から

統計調査に従事し、普及発展に貢献

福島県統計功労者受賞報告ならびに表彰伝達式



上段左から：鈴木茂さん、松本長さん、近藤進さん 下段左から：深谷康正さん、菊池慶壽さん

塙町の統計調査員5人が各種表彰を受賞。受賞報告ならびに表彰伝達式が11月9日(金)、塙農村勤労福祉会館で行われました。全ての基礎数字となる重要な調査「統計調査」。今後も調査員の活動が期待されます。表彰受賞者は次のとおりです。

※敬称略

長年の献身的活動に感謝状

民生・児童委員の下重ケ子さん、登録ヘルパーの星ミヨ子さん・近藤絹子さん



左から：下重さん、星さん、近藤さん

民生・児童委員の下重ケエ子さん（材木町）と塙町社会福祉協議会登録ヘルパーの星ミヨ子さん（田野作）が県知事感謝状、同ヘルパーの近藤絹子さん（台宿）が県社会福祉大会会長感謝状をそれぞれ受賞されました。表彰式は11月2日（金）、二本松市民会館で開催された「第66回福島県社会福祉大会」の席上で行われました。

下重さんは、平成13年12月から民生・児童委員を務めています。星さんは平成14年3月から、近藤さんは平成15年11月から登録ヘルパーに在職。それそれ長年にわたる献身的な活動が高く認められ、今回の受賞となりました。今後の活動がますます期待されます。



表彰を受賞された皆さん

平成24年塙町功労者表彰式

長年の功労に敬意と感謝

平成24年塙町功労者
表彰式が11月3日（土）、
塙農村勤労福祉会館で
開催。大竹孝和さんほ
か13人が民生福祉功劳
表彰を受賞されました。

民生福祉功劳表彰

（順不同・敬称略）

【消防団員として勤務
状況が良好であり、15
年以上勤務】

「中央と地方の関係②」

A black and white portrait of a man with short hair and a mustache, wearing a dark suit and tie. To the right of the portrait are four large, square characters arranged vertically: '副' (Fukushi), '町' (Chō), '長' (Na), and '隨' (Sui). Below the portrait and characters is the author's name, '文・麻山晃邦' (Masaoka Hisanobu), written vertically in a smaller font.

県中学選抜剣道 代表戦を制し初優勝 塙中男子団体



上段左から：菊池暢晃（副将）、近藤司（補員）、近藤蓮（補員）、鈴木洋隆監督
下段左から：鈴木啓太（次鋒）、大寺弘人（中堅）、大友春樹（大将）、青戸郁（先鋒）

勇往邁進

剣道部のモットー：ゆうおうまいしん（意味）目標に向かって、ひたすら前進すること

心を一つにしてつかんだ勝利
若鷲旗を懸けた第28回県中学選抜剣道大会が11月17日（土）、郡山市「郡山カルチャーパーク」で開催。男子団体で塙中が初優勝しました。この大会は、各地区の予選を勝ち抜いた団体の男子24校、女子21校が出場しました。予選リーグを突破した塙中は、決勝で中央大南（いわき市）と対戦。先鋒から中堅まで引き分け。副将戦を取られ窮地に追い込まれましたが、大将戦で勝利し代

表戦に持ち込みました。代表戦では、大将の大友春樹くん（2年）が面を打ち込み、見事勝負を決めました。接戦を制した塙中男子。今後も活躍が期待されます。

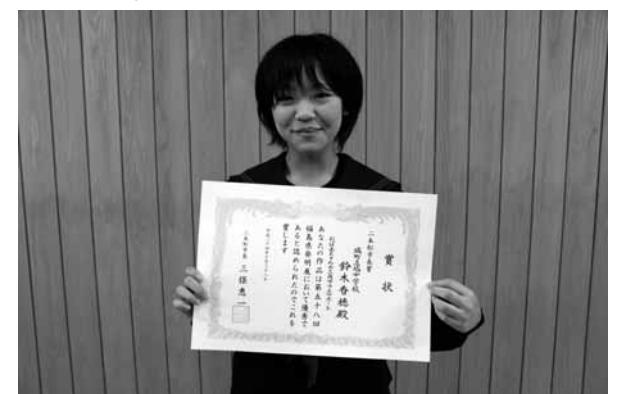
女子は山形県の大会で準優勝
女子団体も活躍。第18回月山杯争奪剣道大会および第27回左沢杯争奪全国中学校秋季剣道錬成大会で、ともに準優勝を果たしました。

介護の気持ちに寄り添う 鈴木香穂さん・福島県発明展「二本松市長賞」受賞

塙中1年・鈴木香穂さんの発明作品「おばあちゃんの三角ササエサポート」が、第58回福島県発明展で「二本松市長賞」を受賞しました。

香穂さんはこれまで、町の発明工夫展で2年連続最高賞を受賞。今回、県知事賞に次ぐ賞に輝きました。

おばあちゃんを介護するお母さんの姿を見て考えたという香穂さん。介護する側・される側の気持ちになって作製したそうです。なお、作品は第71回全日本学生児童発明くふう展に出品されます。



学校の伝統「アルミ缶・古紙回収活動」 笹原小学校が3R推進協議会会長賞を受賞

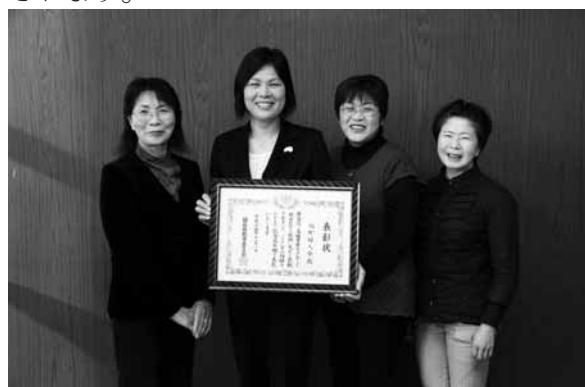
笹原小がリデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞を受賞（表彰式は10月30日（火）、KKRホテル東京で行われました）。郷田均校長とJRC委員会の児童たちが11月1日（木）、役場を訪れ菊池基文町長に受賞報告を行いました。

同校では、JRC委員会の児童を中心となってアルミ缶回収活動などを実施。地域と一緒に取り組みをしています。また、エコに関する学習にも取り組み、環境問題についての意識を高めています。

地域貢献活動を長年実施 塙町婦人会 県教育・文化関係表彰受賞

塙町婦人会（芳賀とし子会長）が、県教育・文化関係表彰式（11月1日（木）県文化センターで開催）で社会教育関係功労者団体として表彰されました。同会の皆さんは11月5日（月）、役場を訪れ、菊池基文町長に受賞報告を行いました。

同会では、これまでブックスタート事業や町内に寺西八カ条看板を設置するなどの「寺西八カ条プロジェクト」を実施。その他、地域に根ざした活動を行っています。今後の活動も期待されます。



左から：上妻八千代副会長、芳賀とし子会長、星さち子さん、田子富子さん



人権思想の普及高揚に尽力 小野ツネさん・法務大臣感謝状を受賞

9月30日付で人権擁護委員を退任した小野ツネさん（本町）が、法務大臣感謝状を受賞。伝達式が10月31日（水）、役場応接室で行われました。菅野好晃福島地方法務局白河支局長が滝実法務大臣からの感謝状を手渡しました。

小野さんは、平成9年から今年9月まで人権擁護委員を5期務め、子どもから高齢者まで気軽に人権相談に応じられるような取り組みと啓発活動を行ってきました。



税に関して真剣に考えました 阿部高也さん・白河地区租税教育推進協議会会長賞を受賞

阿部高也さん（塙工高電子科2年）が、「税に関する高校生の作文」で白河地区租税教育推進協議会会長賞を受賞しました。表彰伝達式が11月20日（火）、同校で行われ、進藤裕明白河税務署長から賞状と記念品が手渡されました。

阿部さんは「税に関して思ったこと、感じたこと」という題で、主に生活保護について作文にしました。税への关心、理解がより深まることでしょう。



出羽神社例大祭

みんなで祭りを盛り上げました



祭りだ！祭りだ！ みんな盛り上がり（左：桜青会の神輿 右：塙6区の神輿）



塙祭ばやし保存会の太鼓演奏が祭りに花を添えます・塙1区から塙6区の山車が駅前に結集した「大寄せ」

受け継ぎたいこの伝統

3年に一度の出羽神社例大祭が、11月3日(土)・4日(日)の2日間行われました。3日午前10時に神輿渡御行列が竹之内を出発。大字塙地区を巡回し、お仮屋で区内安全が祈願されました。そして、太鼓や笛の音を華やかに響かせながら山車が運行。勇壮な神輿が練り歩きました。

また、4日に行われたお祭り最大の見せ場「大寄せ」では、各区の山車が駅前に集合。塙一区から塙六区の合同演奏が披露され、観客からは盛大な拍手が送られていました。



古式ゆかしい神輿渡御行列



練習してきた成果をここに披露

町人事行政の運営状況

塙町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第3条の規定に基づき、職員数や給与、服務などの状況について公表します。

■問い合わせ 総務課総務係 ☎ 43-2111

1. 職員数および任免の状況

●部門別職員数の状況(各年度4月1日現在)

機関名	職員数			対前年度増減数	増減理由
	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
町長部局	82人	80人	79人	△1人	退職△6人、採用5人
議会事務局	1人	1人	1人		
教育委員会	24人	26人	29人	3人	退職△1人、採用4人
選挙管理委員会	1人	1人	1人		
監査委員会事務局	1人	1人	1人		
農業委員会	1人	1人	1人		
合計	110人	110人	112人	2人	

※職員数は、一般職に属する職員数です。

●職員数適正管理の数値目標および進捗状況等

区分	増減職員数					(参考) 第3次計画実績
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
定員適正化目標	110人	110人	110人	110人	110人	124人⇒114人
定員適正化実績	110人	112人	—	—	—	平成22年度末110人
対前年度増減数	—	2人	—	—	—	目標を4人上回る減員達成

※第4次の目標(平成27年度まで平成23年度末の職員数を維持する)

●職員の採用および退職の状況(平成23年度)

区分	採用	退職			
		定年	勧奨	その他	合計
一般職	9人	1人	5人	1人	7人
合計	9人	1人	5人	1人	7人

2. 職員の給与の状況

●人件費の状況(普通会計)

住民基本台帳人口 平成24年3月31日現在	歳出額 (A)	人件費 (B)	人件費率 (B/A)
9,755人	8,780,758千円	935,536千円	10.7%

※人件費には、特別職に支給される報酬等も含まれています。

●職員給与費の状況(平成24年度当初予算)

	給与費			計
	給料	期末・勤勉手当	その他の手当	
平成24年度	394,924千円	143,641千円	52,821千円	591,386千円

●初任給および経験年数別・学歴別平均給与月額の状況(平成24年4月1日現在)

区分	初任給	経験年数		
		採用2年経過後	10年	15年
一般行政職	大学卒	175,100円	187,200円	244,700円
	高校卒	142,500円	151,000円	208,800円

●特別職の報酬等の状況(平成24年4月1日現在)

区分	給料月額	期末手当	
		平成23年度支給割合	2.90月分
町長	780,000円		
副町長	624,000円		
教育長	589,000円		
議長	272,000円		
副議長	206,000円		
議員	188,000円		

●主な手当の種類とその内容

期末・勤勉手当 (一般職)	○期末手当 2.55万円 ○勤勉手当 1.35万円 ※役職加算 5%～15%
退職手当	勤続35年の場合 ○自己都合 47.5万円 ○定年・勧奨 59.28万円
時間外勤務手当	○平成23年度支給実績 17,760円 ○平成23年度職員1人当たり平均支給年額 312円
扶養手当	○配偶者・・・13,000円 ○扶養親族たる子父母等・・・1人につき6,500円 (配偶者がいないときは、1人については11,000円)
住居手当	○借家借間・・・27,000円上限
通勤手当	○交通機関などの利用者・・・55,000円までは全額、55,000円を超えた場合、その超えた額の1/2の額を55,000円に加えた額 ○自動車等使用者・・・通勤距離に応じて、2,300円～43,900円
特殊勤務手当	○危険、不快、不健康または困難な業務に従事する職員に対して支給 行旅死病人取扱手当 防疫作業手当 1日5,000円
管理職手当	○職に応じた額(定額)

3. 職員の勤務条件の状況

●勤務時間

1週間の正規の勤務時間	38時間45分
1日の正規の勤務時間	7時間45分
開始時刻	午前8時30分
終了時刻	午後5時15分

●休暇制度

休暇の種類	付与日数
年次有給休暇	年ごとに20日間付与され、20日を超えない範囲内の残日数は、翌年度に繰り越し可能 ※平成23年平均取得日数・・・9.7日
産前産後休暇	産前8週間、産後8週間以内
配偶者の出産休暇	3日以内
育児休暇	1日2回各30分以内
子の看護のための休暇	5日以内
忌引休暇	続柄により1～10日以内
夏季休暇	5日以内
ボランティア休暇	5日以内
結婚休暇	10日以内

7. 職員の福祉と利益の保護の状況

(平成23年度)

●健康診断等の受診状況

区分	受診者数(延べ)
定期健康診断	178人
人間ドック	15人

●公務災害等の状況

区分	件数
公務災害	0件
通勤災害	0件

8. 公平委員会の業務の状況(平成23年度)

区分	件数
勤務条件に関する措置の要求の状況	0件
不利益処分に関する不服申立ての状況	0件

4. 職員の分限処分と懲戒処分の状況

(平成23年度)

- 分限処分・・・0件
- 懲戒処分・・・0件

5. 職員の服務の状況(平成23年度)

- 服務義務違反・・・0件

6. 職員の研修の状況(平成23年度)

「第22回塙代官カップ！水上俵引き競争」が、塙小学校東側の久慈川で行われました。今年は、

塙代官メインレースに10チーム、

女性の部レースに9チーム、仮装の部レースに5チームの合計24チームが出席。1チーム4人編成で、3つの俵が乗ったイカダ(約65キロ)を引くレース。メインの部は120組、女性と仮装の部は100組のコースで速さを競い、大激走が繰り広げられました。

当日は気温10度・水温7度という中、優勝を目指し頑張る選手たちに観客からは惜しみない拍手と声援が送られていました。今年も昨年に引き続き、ラジオ福島・手塚伸一アナウンサーによる実況中継・生放送があり、会場は大いに盛り上りました。



水しぶきを上げ激走！

水上俵引き競争



塙代官メインレース

- 優勝 Golden Age(福島市)
- 準優勝 地域応援隊(棚倉町)
- 第3位 KAMEGAJYO(棚倉町)

女性の部

- 優勝 エキスパート・ナース(塙町)
- 第2位 RABONA-A(塙町)
- 第3位 TEAM21(塙町)

仮装の部

- 優勝 エキスパート・ドクター(塙町)
- 第2位 チーム盛り上げ隊(塙町)
- 第3位 親孝行され隊(塙町)



24チームが参加
白熱したレースが
展開されました

笠原幼稚園の元気な園児たち



平成25年度幼稚園入園児を募集します

募集定員	募集期間	入園対象児	受付場所	募集期間	募集定員
篠幼稚園 常豊幼稚園 笠原幼稚園	12月11日(火)から12月18日(火)まで	6ヶ月児から3歳児(平成21年4月1日生まれ)まで	平成25年1月7日(月)から12月3日(月)	平成25年1月7日(月)まで	70人
4歳児 5歳児 4歳児 5歳児 4歳児 5歳児 4歳児 若干名 若干名 若干名 若干名	50人 若干名 30人 若干名 30人 若干名 50人 若干名	6ヶ月児から3歳児(平成21年4月1日生まれ)まで	健康福祉課または篠保育園	6ヶ月児から3歳児(平成21年4月1日生まれ)まで	70人

入園資格

- 4歳児・・平成20年4月2日から平成21年4月1日の間に生まれた人
- 5歳児・・平成19年4月2日から平成20年4月1日の間に生まれた人

提出書類

- ①入園申込書
- ②在職・内職・パート証明書
- ③民生委員の証明書(母の病気等のために家庭で保育できない場合)。
- ④母親の出産など
- ⑤病人の看護など
- ⑥家庭の災害
- ⑦①～⑥以外で乳幼児の保育が困難なとき

手続き・問い合わせ

教育時間終了後、保育が必要な幼児を対象に預かり保育を実施する予定です。希望される方は、願書と一緒に「預かり保育利用希望調書」を提出してください。

問い合わせ

教育委員会
学校教育課学校教育係
☎(43)4050

祝100歳長寿

緑川カクさんに知事祝状



加藤清司県南保健福祉事務所長から知事祝状を受け取るカクさん(右)

11月1日(木)に満100歳の誕生日を迎えた緑川カクさん(那倉)への祝状および記念品等の贈呈式が同日、介護老人保健施設・久慈の郷で行われました。

加藤清司県南保健福祉事務所長が県知事からの祝状と記念品を贈呈。続いて、菊池基文町長が町からの祝状と記念品等、町社会福祉協議会からの記念品を贈呈しました。

また、星竹敏久慈の郷施設長から記念品が手渡され、三男の蛭田清さんが謝辞を述べました。

長寿の秘訣、日常生活で心掛けていることは「自分の思うように、自分流に生きる」ことだそうです。いつまでもお元気で!



菊池町長から慰問品を受け取る青砥森三さん(上町)

はなわのゆるキャラ誕生!

「はなわのダリちゃん」町長へお披露目

塙町商工会女性部が創立40周年を記念して作製した着ぐるみ「はなわのダリちゃん」。町長へのお披露目・報告が11月19日(月)、役場応接室で行われました。星春美部長と高澤和子副部長が、菊池基文町長に作製の経緯などについて説明しました。

今後各種イベントなどで活用される「ダリちゃん」。11月23日に行われた第23回塙町産業祭でも、会場内を盛り上げていました。



左から：高澤和子副部長、ダリちゃん、星 春美部長

ひとり暮らし・寝たきり高齢者を見守る 友愛訪問を実施

町内の65歳以上ひとり暮らし・寝たきり高齢者を町長が訪問する「友愛訪問」が11月12日(月)から15日(木)に行われました。菊池基文町長が、220人一人ひとりのお宅を訪問。慰問品を贈り励ました。

毎年行っているこの事業。町ではこのほか、高齢者見守り事業訪問員26人が、1ヶ月に1回以上ひとり暮らしの高齢者を訪問し、安否確認や話し相手になるなどの活動をしています。

問い合わせ
健康福祉課高齢者支援係 ☎ 43-2227

くらしの情報

役場の電話番号
0247-43-2111(代表)
役場のFAX
0247-43-2116
町のホームページアドレス
<http://www.town.hanawa.jp>

fukushima.jp/
町のメールアドレス
soumu@town.hanawa.jp
fukushima.jp

*意見や要望のある方はご利用ください。

【直通電話番号】	
総務課	43-2111
市民課	43-2113
健康福祉課	43-2115
包括支援センター	43-2224
まち振興課	43-2112
まち整備課	43-2117
水道課	43-2148
会計室	43-2149
塙保育園	43-0377
議会事務局	43-2150
農業委員会	43-2119
教育委員会	43-4050
学校教育課	43-2644
生涯学習課	43-0320
公民館	43-0808
図書館	43-0188
給食センター	43-0378
東白衛生組合	43-0376

相談

司法書士による
無料法律相談

白河司法書士総合相談センター

不動産登記や会社登記、相続・遺言、多重債務、少額の裁判、成年後見などに関する法律相談、震災による困りごと相談などをています。相談は無料で、秘密は厳守されます。

※事前に予約をお願いします。

○開催日時・場所

マイタウン白河2階

午後1時～午後4時
祝祭日を除く月～金曜日
午前10時～午後12時30分
午後1時30分～午後4時

○午後4時～午後4時
1月24日～1月25日～4月30日

○生涯学習通信講座

午後4時～午後4時
1月18日～1月24日
1月25日～4月30日

午後1時～午後4時
予約・問い合わせ
白河司法書士総合相談センター
ターゲット

0248(23)1785

祝祭日を除く月～金曜日
午前10時～午後12時30分
午後1時30分～午後4時

0120(06)8881

通年申込受付
NHK学園

042(572)3151

案内書請求フリーダイヤル
NHK学園

0120(06)8881

通年申込受付
NHK学園

042(572)3151

案内書請求フリーダイヤル
NHK学園

042(572)3151

1月18日～1月24日
1月25日～4月30日

0120(06)8881

通年申込受付
NHK学園

042(572)3151

案内書請求フリーダイヤル
NHK学園

042(572)3151

通年申込受付
NHK学園

042(572)3151

TOWN TOPICS



上：約250人が出席した大会
右：老人作品展表彰(塙町長賞を受賞した霜重正明さん)

明るい長寿社会のために

—平成24年度塙町老人大会—

塙町老人クラブ連合会(星輝明会長)主催による平成24年度塙町老人大会が11月14日(水)、塙町公民館で行われました。各単位老人会から250人が参加。大会では老人作品展表彰(霜重正明さんほか)および会員加入増強運動表彰(伊香高砂会)がありました。その後、大会宣言・スローガンの朗読、万歳三唱があり会員一致団結しました。

大会後は健康講演や芸能発表会が行われ、会場内はシルバーパワーにあふれ、熱気に包まれていました。



ものづくりの楽しさを実感

—中高一貫教育ものづくり体験学習—

塙中と塙工高による中高一貫教育ものづくり体験学習が11月1日(木)、塙工高で行われました。

塙中の2年生106人が参加。機械科の文鎮・ペーパーパウエイト・キーホルダー・ベンチの製作と簡単な製図、電子科の簡単マイコンゲームの製作などテーマごとにものづくりを体験。高校生の指導を受けながら作品を製作しました。

中学生・高校生が一緒に学ぶこの体験学習。今後もこういった学習を行うことで、中高の連携が期待されます。



高校生が親切丁寧に教えていました



関係機関との連携を深める

救急医療の向上に向けて

—塙厚生病院・棚倉警察署・消防署 情報交換会—

第4回となる塙厚生病院・棚倉警察署・棚倉消防署の情報交換会が11月20日(火)、同病院会議室で行われ、約80人が出席しました。

救急搬送状況説明、棚倉警察署による講話「事件・事故現場における警察措置について」があったほか、「心筋梗塞と診断された症例」や「病院収容に苦慮した症例」についての救急事例発表が行われました。

出席者たちは、地域医療・救急医療の現状を把握し、今後に役立てていくことを誓いました。

地域の問題を考え、行動へうつす

—農山村地域再生に向けた講演会—

空き家の増加・森林の荒廃・耕作放棄地の増加など、地域・集落が抱える問題を考える「農山村地域再生に向けた講演会」が10月29日(月)、塙農村勤労福祉会館で行われました。約100人が出席。講師の岡司直也・法政大学現代福祉学部准教授が、集落の再生および活性化について講演を行いました。

今回の講演会は、自分たちの地域を改めて考え、行動にうつすきっかけになったのではないでしょうか。



自分たちの地域を良くする。皆さん关心を持って聞いていました

塙中野球部・東北大会に出場しました

—全日本少年春季軟式野球大会東北Aブロック予選会—

塙中野球部(部員39人)が第19回福島県中学校新人野球大会(10月27日・28日、11月3日開催)で準優勝し、福島県第二代表として第4回全日本少年春季軟式野球大会東北Aブロック予選会(11月10日開催)に出場しました。宮城県第一代表の津山中と対戦した塙中。息詰まる投手戦となりましたが、惜しくも0対1で敗れてしまいました。

各種大会で好成績を収めている塙中野球部。部員たちは今、リベンジに燃えています。今後の活躍が期待されます。



敗戦の悔しさを次の大会に生かす

木のぬくもり感じる校舎を視察

—磐梯町行政区長会が塙中学校を視察—

耶麻郡磐梯町の行政区長会視察研修が11月16日(金)、塙中学校で行われました。同区長会10人が来校し、教育委員会学校教育課や結城久直校長から塙中の概要などについて説明があった後、実際に校舎内を見学。木材をふんだんに使用したぬくもりあふれる校舎を見て、感嘆の声を上げていました。

磐梯町では現在、磐梯中学校の建設を行っており、今後の行政区の活性化と行政運営向上のための参考にしていました。



校舎内を見学。今後の行政運営の参考に

まちの話題

あなたの地区の話題を提供してください。
取材に伺います。

※広報はなわに掲載された写真を希望される方は、
総務課☎43-2111までご連絡ください。

隨リレー

想

お持ちかね。あなたの出番です。
271
シリーズ



大金 智子さん
(台宿)

職業 美容師
趣味 クロスワードパズル
好きな言葉 「不言実行」
(言うよりも行動)

子育てが終わって

この広報がまわってくるのも2回目となり、今回はあのころから少し変化したことを書こうと思います。

私は二人の子育てが一段落し、今年も残すところ1ヶ月を切りました。毎年この時期になると、1年は早いなと感じます。

私は二人の子育てが一段落し、自分のために過ごす時間が持てるようになります。私が今まで楽しんでいたり、季節ごとの食材を

毎年、自然の恵みに感謝しつつ、季節を感じながら楽しんでいます。昨年は、原発による放射能が気になりましたが、今はさほど気にせず作ることができます。これからも、何げない毎日が少しでも楽しく過ごしていけるよう、健康にも心掛けたいと思います。

私は高校・大学と親元を離れてから入った五右衛門風呂は、今でも忘れられません。私が集団就職で塙町を離れてから、何十回という四季が過ぎていきました。また、そのころは年に数回で、先生と生徒が一緒になって子育てをしながら生徒は授業を受けていました。また、そのころは年に数回で、全校生徒が集まってイナゴ捕りをして、ゆでたイナゴを各家庭で買取る、学校運営の資金にしていました。

現在は就職に伴い塙町に戻ってきて、時々ではあります。小学生や中学生の練習のお手伝いができるようにもなりました。自分が経験を生かして、子どもたちが楽しく野球ができるよう、サポートできたらしいなと思っています。

私は高校・大学と親元を離れてからも、何事においても精一杯努力したいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

■次回は増子由紀さん(台宿)です。

した。そんなときに出会ったのが「明日やろうはバカ野郎」という言葉でした。ちなみに、この言葉は私が高校生のときに放送していたドラマのセリフの一部です。このセリフを聞いてからは、気分が乗らないときでも小さな努力でも毎日取り組むようになりました。こうした継続的な取り組みを続けるうちに、次第に結果もでるようになつたと思います。

現在は就職に伴い塙町に戻ってきて、時々ではあります。小学生や中学生の練習のお手伝いができるようにもなりました。自分が経験を生かして、子どもたちが楽しく野球ができるよう、サポートできたらしいなと思っています。

今までたくさんの方々に出会って、お世話になり、成長できたことから感謝しています。これからも、何事においても精一杯努力したいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

車田 祥和さん
(上町)

職業 信用金庫職員
趣味 スポーツ観戦
好きな言葉 「明日やろうはバカ野郎」



内田美代子さん
神奈川県相模原市在住
(代官町出身、旧姓:中野西)

「東京塙会」からこんにちは

No.107

このコーナーでは、東京塙会の皆さんのお出でやふるさとへの思いを紹介しています。

故郷塙町

塙町の皆さま、東京塙会の皆さま、こんにちは。今年も押し迫り、忙しい日々をお過ごしのことと存じます。普段は文章を書くことなど全く日々を過ごしておりますので、原稿依頼のお電話をいたしました。大変びっくりいたしました。もともと書くことは大の苦手の私ですので迷いましたが、思い切って投稿させていただきました。私は5人兄弟の長女として生まれ、16歳まで塙町で過ごしました。塙小学校の入学式のときは終戦直後で、両親の着物をあつらえ直した羽織は背中におぶって学校に通い、おぶつたまま授業を受けました。そのころは皆、同じように兄弟をおぶって通学していたので、教室の中はおむつを替えていたり、泣きじや

くる赤ん坊をあやす人などさまざまでした。また、そのころは年に数回で、全校生徒が集まってイナゴ捕りをして、ゆでたイナゴを各家庭で買取る、学校運営の資金にしていました。時代でした。

くる赤ん坊をあやす人などさまざまでした。また、そのころは年に数回で、全校生徒が集まってイナゴ捕りをして、ゆでたイナゴを各家庭で買取る、学校運営の資金にしていました。時代でした。

「ふるさとの訳りなつかしさを聴きにゆく」

心温まる善意に感謝

(11月分)

- 星電設株式会社 様 電気しき毛布5枚(友愛訪問先へ)
- 塙町商工会女性部 様 靴下50足(デイサービスセンター利用者へ)
- 保住 富晴 様(東京都八王子市) 10,000円(ふるさとづくり寄付金・通算11回目)
- 鈴木誠一郎 様(伊香) 100,000円(社会福祉のために)

(次回は、埼玉県三郷市在住の益子泰文さんです)

こんにちは赤ちゃん

10月16日から11月15日までの届け出

出生児名	父	母	月/日	住 所
佐藤 茉莉と 徳翔くん	翔哉	・ 恵里香	10/13	那倉
下重 純斗くん	健一郎	・ 恵	10/15	東河内
斎藤 実樹ちゃん	慎也	・ 智子	10/25	植田
金澤 佑依ちゃん	寧	・ 陽子	10/26	植田

※「おくやみ申し上げます」は23ページに掲載しています。

7 COLORS

まちの輝く人

No. 14



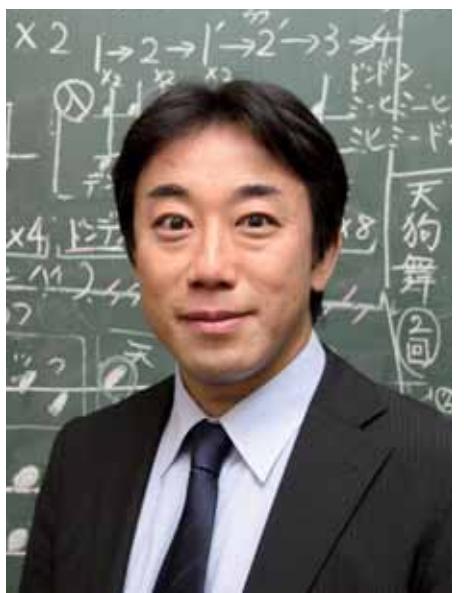
太鼓専用部屋で今日も練習に励む(取材した日は、産業祭に向けての練習をしていました)

ドンドン—体育館隣の旧製図室で、今日も練習に励む「塙工業高校和太鼓愛好会」。15人ほどのメンバーを熱心に指導する中畠先生。小学校の教員をしていたとき、学習発表会で太鼓演奏をしたところ、保護者でつくる太鼓チームに誘われたのが本格的にはじめたきっかけ。塙工高着任後は、塙祭ばやし保存会の方との運命的な出会いがあった。「高校生にも太鼓を教えたい」。その熱い思いに共感した同保存会は、中畠先生への太鼓の貸し出しを即決。そして、平成22年12月の和太鼓愛好会発足後は、各種イベントなどで演奏を披露している。今年10月には、外務省の日韓交流事業「日韓交流おまつり」に参加。ソウルの国際展示場で堂々と演奏した。

設立当初、練習にメンバーが集まらず（他の部活動との掛け持ちのため）生徒と二人だけでやっていた時期もあったという。今でも全員がそろうことはなかなかなく、限られた時間・メンバーで練習をしている。

しかし、太鼓の大きい音にも関わらず、地域の方および学校の理解・応援があること、他の部活動の先生方の配慮にとても感謝しているそうだ。

魂をゆさぶる音楽、そして奥深い太鼓の魅力をこう語る中畠先生。生徒たちには、できた喜び、充実感を味あわせたいという。今後はメンバーを充実させ、部活動への正式な昇格をすることが目標。太鼓文化盛んなこの場の地で、今日も生徒たちと一緒に太鼓を打ち鳴らすー。



●休日の当番医院

2月2日(日)	金澤医院 ☎ 4 6 - 2 3 1 2	12月24日(月)	木村医院 ☎ 4 6 - 3 5 2 8
2月9日(日)	東白川中央医院 ☎ 3 3 - 3 2 6 3	12月30日(日)	あらまちクリニック ☎ 3 3 - 8 0 1 8
2月16日(日)	おおひら整形外科クリニック ☎ 3 3 - 9 4 6 8	12月31日(月)	和田医院 ☎ 3 3 - 2 0 1 2
2月23日(日)	塙厚生病院 ☎ 4 3 - 1 1 4 5	1月1日(火)	東館診療所 ☎ 4 6 - 3 1 6 5

発行・編集／塙町役場
総務課課題二
印 刷／佐藤印刷所

▼県中学選抜剣道で初優勝！
塙中剣道部の快進撃が続いています。消防団の活躍に続けとばかりに、各分野で塙町の児童・生徒たちの活躍が光っています。「勇往邁進」塙中剣道部のモットー。この言葉を胸に、私も頑張りたいと思います。▼東京塙会が20周年を迎えるました。以前の職場で事務局を担当していたこともあり、式典ではたくさんの方から声をかけていただきました。心の通い合う交流は続きます。これからも「ふるさと・塙町」をよろしくお願いします。

関根宏一



● 今月の納税等

町県民税	4期
国民健康保険税	6期
後期高齢者医療保険料	5期
介護保険料	6期
納期限	12月25日(火)

●町の人口 9,732人(11月1日現在)

男性 4,796人(+ 1) 世帯数 3,307戸(+ 7)
 女性 4,926人(-10) () 内は前年比

※広報はなわの『町の人口』は、住民基本台帳の
人口・世帯数を掲載しています

【おわびと訂正】
先月号(11月号)の11[△]「第26回東白川小学校
陸上競技大会」で、入賞者について掲載もれ
がありました。訂正しておわびします。
■ソフトボール投げ
男子 第2位 近藤海夢(常豊小) 59m32
女子 第4位 鈴木 綾(笠原小) 31m23